

ラド

ラド らど

放射線の量の一種である「吸収線量」を表す旧CGS単位系の呼称で、“rad”で表されていた。電離放射線が物質と相互作用を行った結果、その物質の単位質量あたりに吸収されたエネルギー量であり、MKS単位系（SI単位）と旧CGS単位系の違いにより、異なった呼称が用いられた。「ラド」はこのうち旧CGS系の単位として利用されていたもので、1gの物質中に吸収されたエネルギー量（100erg）を基準として表したものである。即ち $1 \text{ rad} = 100 \text{ erg/g}$ である。現在、吸収線量の単位としては世界的にSI単位系の呼称であるグレイ“Gy”（ $1 \text{ Gy} = 1 \text{ J/kg} = 100 \text{ rad}$ ）が広く利用されるようになり、“rad”は使用されなくなった（グレイを参照）。

<登録年月>

2007年08月
